

地域防災を担う消防団員 日頃の訓練成果を披露



女性団員が初めて選手として出場しました

長崎市消防団ポンプ操法大会を9月29日に開催し、市内18地区から選抜された消防団員約120人が出場しました。

競技では「ポンプ車操法」と「小型ポンプ操法」との2つに分かれ、ホースの延長やポンプの操作などを行い、放水して水を落とすまでの速さと正確さ、チームワークなどを競いました。

防火防災の要である消防団員は日頃の訓練の成果を披露し、消防活動への士気をさらに高めました。

■問い合わせ 消防局予防課(☎822-0425)

「若者100人 超交流会」 開催!



若者のアイデアで長崎をもっと素敵なまちに

9月29日、若者たちが集い、これからの長崎をより良くする方法を話し合う「超交流会」を開催しました。

6人程度の各班で「長崎の良いところ&変えたいところ」についてアイデア発想ツールを活用して意見を交換。今後のまちづくりに関して、柔軟な発想から生まれたさまざまなアイデアをみんなで共有しました。

今回初めての試みでしたが、参加者が楽しんで交流しながら、思い思いの未来の長崎のまちのイメージを膨らませました。

■問い合わせ 都市経営室(☎829-1111)

美味しい店を巡り 「きずな」を「むすび」ます



まちなかの魅力を再発見するきっかけに!

9月19日、「和華蘭くいもんウォークラリー」のまちぶらプロジェクト認定式を行いました。

このイベントは、まちなかにある魅力的な飲食店を巡って交流することで、まちを盛り上げようとするものです。参加者が地元のお店と出会い、きずなをむすぶきっかけになれば、という思いで始まり、次回は12月7日を予定。コースは新大工地区から中通りを経由し、大浦地区まで。美味しい和洋中とまちなかの魅力満載のウォークラリーに参加してみませんか?

■問い合わせ まちなか事業推進室(☎829-1178)

市の政策評価について ご意見をいただきました



審議会の西村会長から市長へ報告書が手渡されました

10月9日、市が行った施策評価に対し、各分野の専門家や市民など43人で構成する長崎市総合計画審議会から中立的・専門的視点で審議した報告書が市長に提出されました。

報告書では、人口減少が進むなか、持続可能なまちづくりには、世界の動向を注視し、社会の変化に応じた成果指標の検討や、さまざまな分野の連携が必要であるとのことご意見をいただきました。今後、市の取り組みや第五次総合計画の策定に生かしていきます。

■問い合わせ 都市経営室(☎829-1111)